



コロナ対策の評価と今後の医療体制： 国公立病院・特定機能病院・特定感染症指定 医療機関の立場から



NCGM

国立国際医療研究センター
理事長

國土典宏

January 13, 2023

10 min

NCGMセンター病院の概要



国立研究開発法人
特定機能病院
特定感染症指定医療機関
病床数：749
標榜診療科：43

新宿区民が多く受診
入院患者の42%
外来患者の25%

(2018年10月～2019年9月)



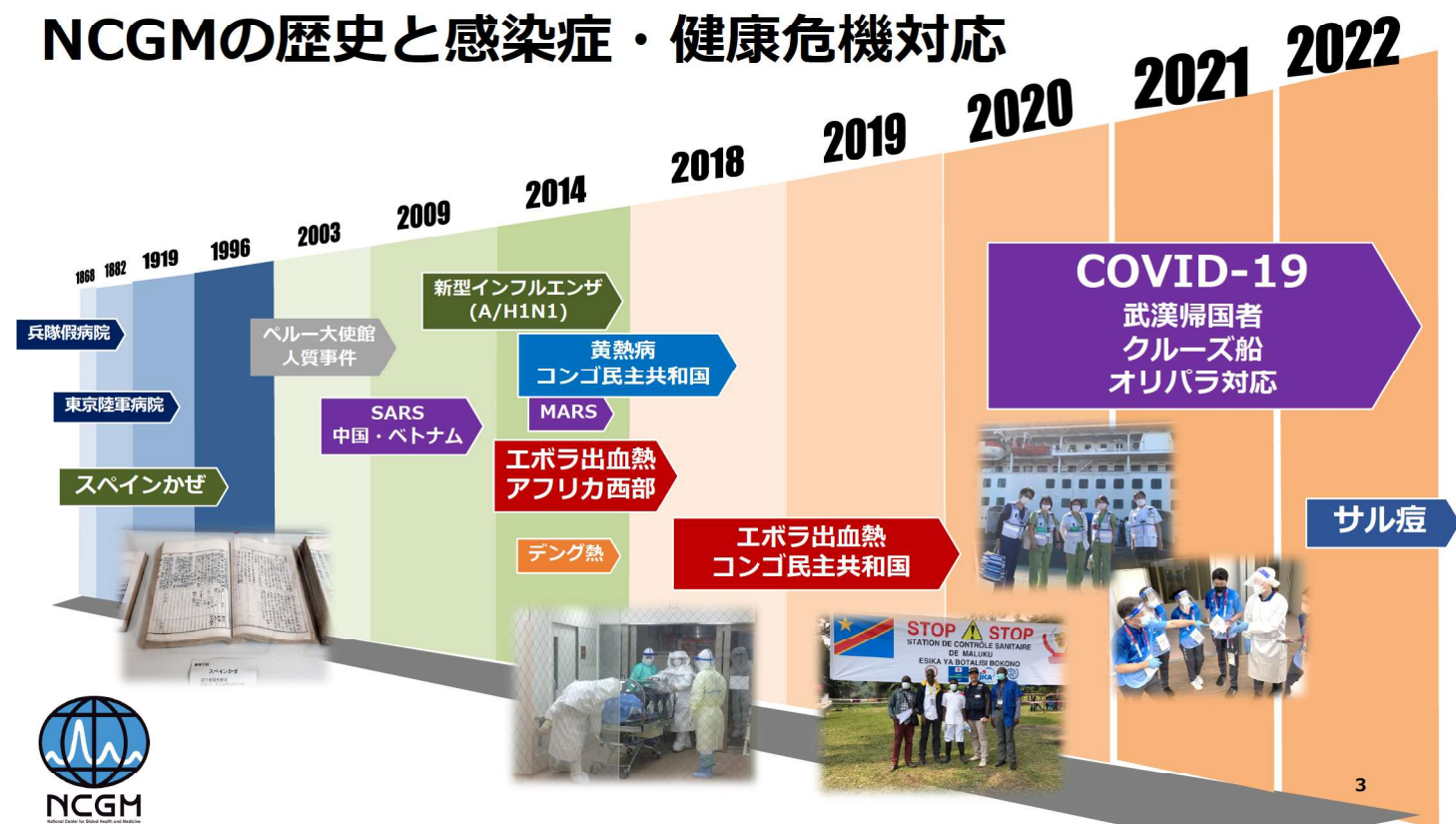
The World's BEST Hospitals

2022

・世界ランキング
78位
・日本ランキング
5位



NCGMの歴史と感染症・健康危機対応



新感染症棟

特定感染症指定医療機関(全国4か所全10床)



- SARS騒動の後、2003年4月開棟
全4床
- いつでも患者受け入れができるように「新感染症」のみを対象とするように厚労省から指示されている
- 看護師は16名に併任辞令が出ており、患者受け入れが決定した時点で、新感染症病棟勤務となる
- 定期訓練
(患者受け入れ訓練、机上訓練)

2014年10月27日 羽田空港でリベリアから帰国した40代の男性ジャーナリストが発熱を訴え、エボラウイルス病疑いにて東京国際空港検疫所から搬送依頼あり、国立国際医療研究センターへ搬送された。



Oct. 2014





6



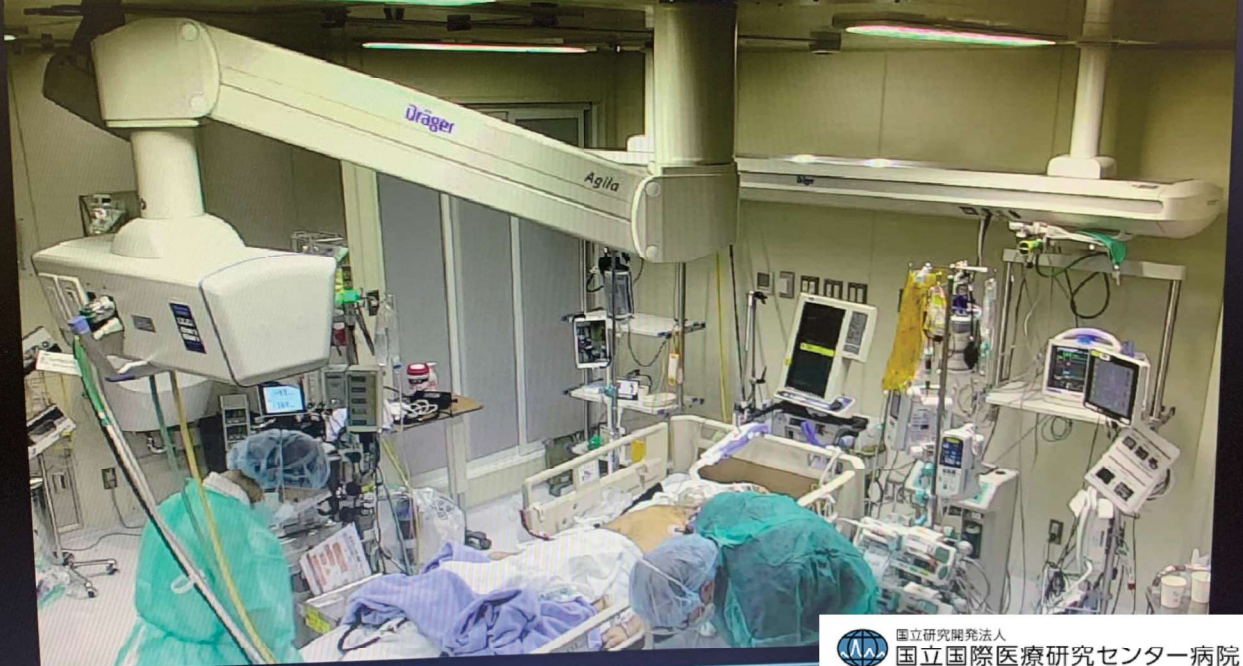
武漢帰国者対応2020.1.29-2.17
 通算5便：829名（うち793名をスクリーニングして15名（1.9％）陽性）



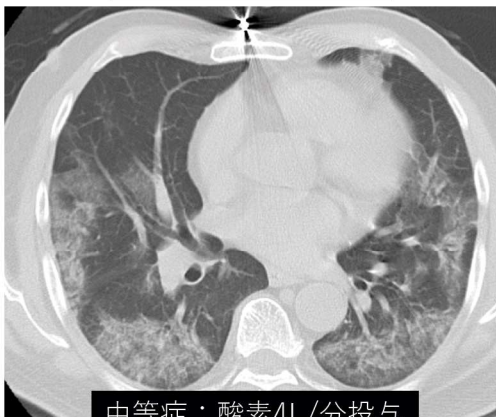
7

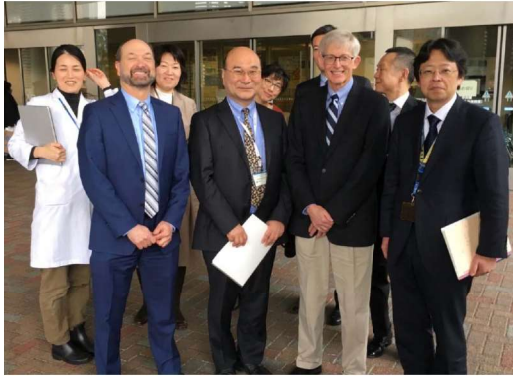
特定感染症病床におけるCOVID-19患者の診療（ECMO稼働中）

感染症病室02



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター病院
Center Hospital of the National Center for Global Health and Medicine

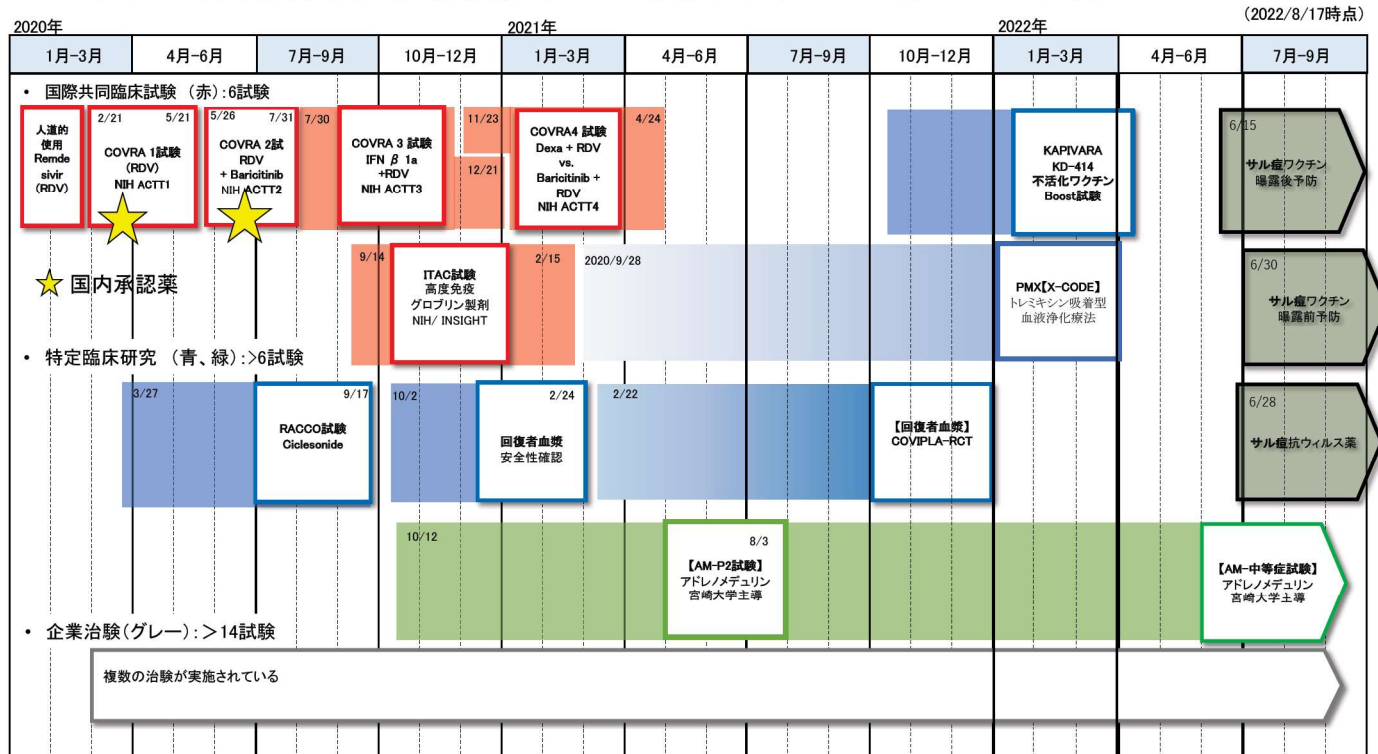




米国CDC, NIH/NIAIDと NCGMの協力

2020.2-

NCGMにおける新興再興感染症治療薬・ワクチン開発計画(2020年1月～2022年8月)



読売新聞（朝刊・1面）2020年4月16日

大病院に患者殺到



国立国際医療研究センターに設置された発熱外来には診療開始前から多くの感染疑い患者が間隔を空けて列をなした（8日午前、同センター提供）

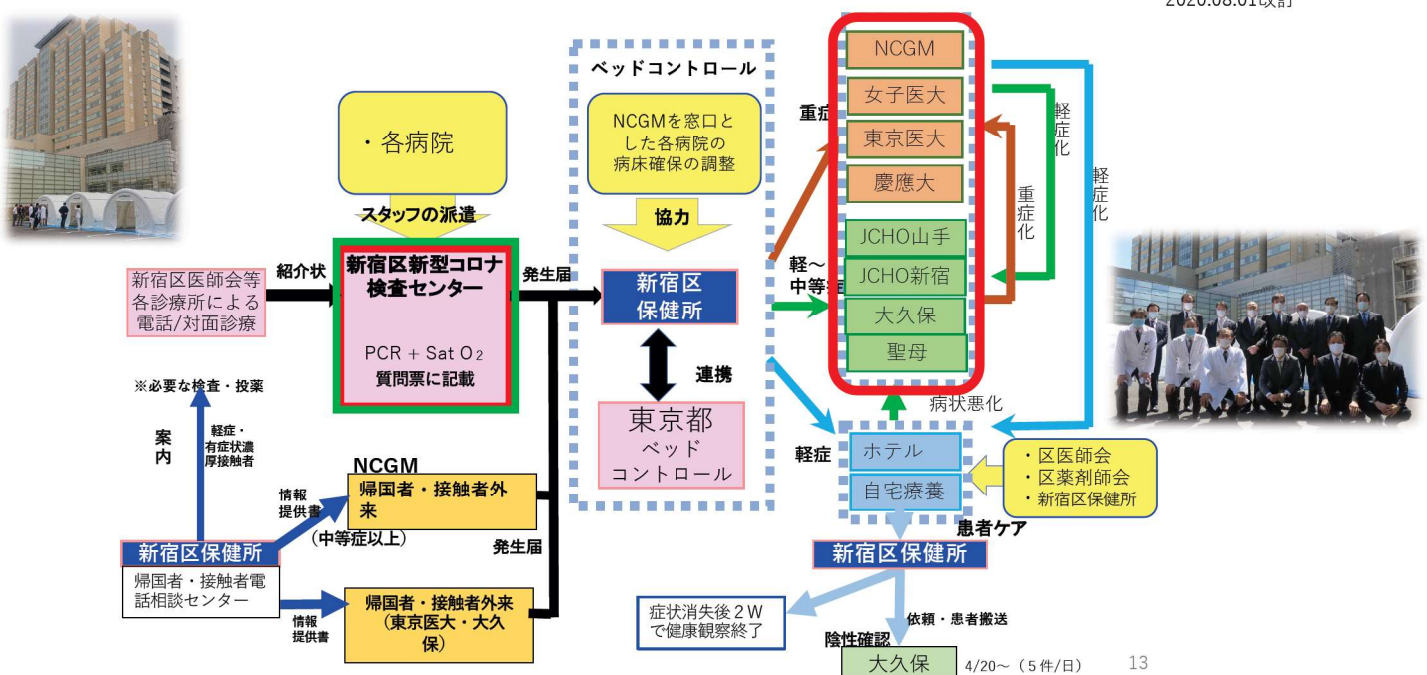
現で療が

都内
受

12

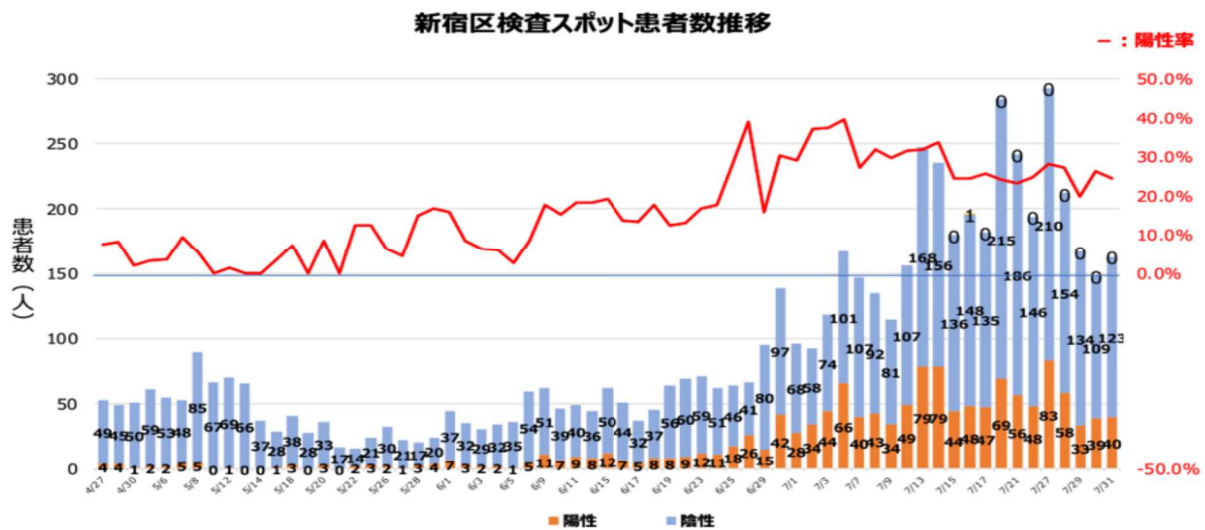
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査・医療提供体制

2020.08.01改訂



13

新宿区新型コロナ検査スポット



稼働日数：65日

受診者数：6044人（うち67名はDCC外来へ）

総検査数：5977件（陽性率 22.3%）

新宿区
PCR検査スポット
(国際医療研究センター)



迫村泰成先生のご厚意による



COVID-19の発生状況と診療体制

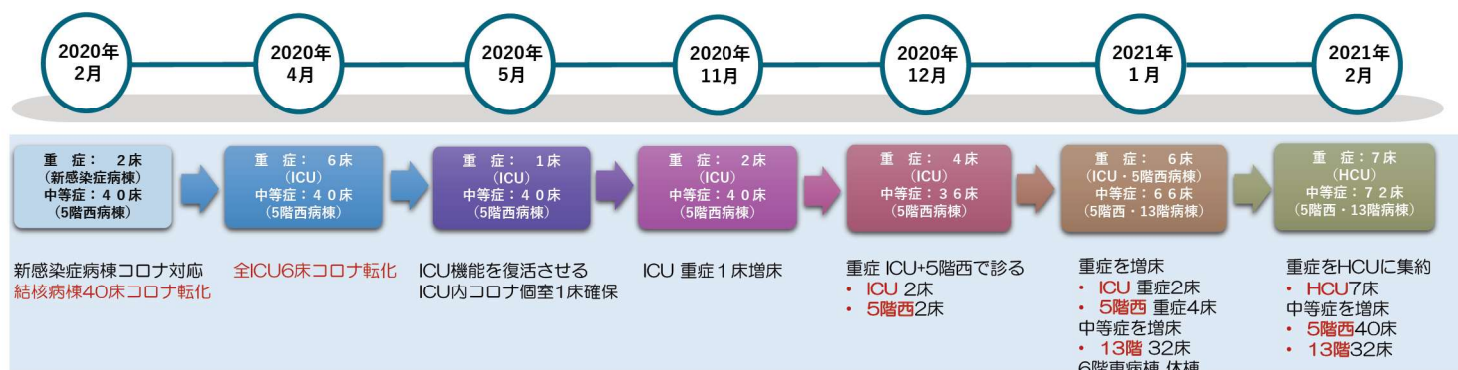
※2022年8月24日（水）より

フェーズ	診療体制	COVID-19 病棟	COVID-19 収容想定人数
1	◎ 通常診療を維持	5西病棟	5西 概ね34名以内
2-1	◎ 通常診療を一部制限 ※一部の病棟等の制限を含む	5西病棟 HCU (ICU) 13階	5西 概ね34名以内 HCU 概ね7名以内 13階 概ね38名以内
2-2	◎ 通常診療を縮小 手術、内視鏡・治療、外来、病棟等の制限	5西病棟 HCU (ICU) 13階	5西 概ね34名以内 HCU 概ね8名以内 13階 概ね38名以内
3	◎ 緊急時の対応とする	全病棟	2-2に加えて ICUと個室病棟等の使用拡大

※COVID-19対応診療科（適宜他科も応援）

- 5 西：DCC、呼吸器科、ACC、内科系チーム
- HCU：DCC/呼吸器科、集中治療科ECMOの管理は集中治療科、救急科）
- 13階：DCC、呼吸器科、ACC、内科系チーム

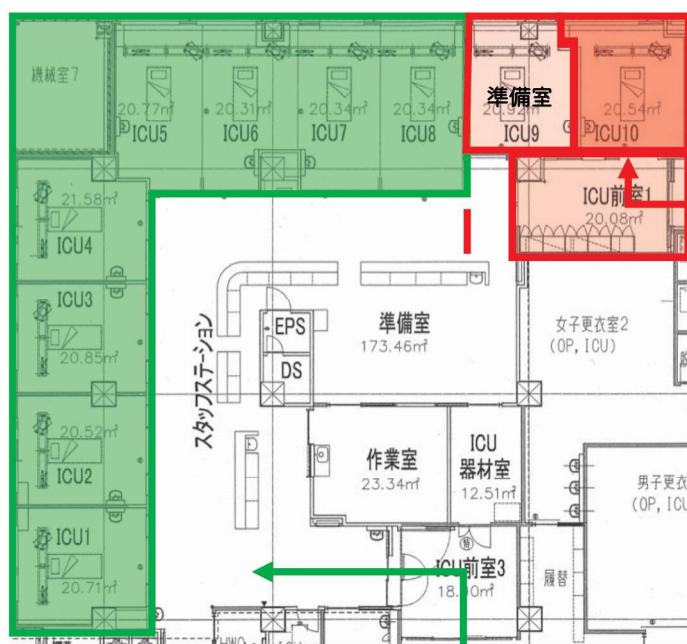
国立国際医療研究センター COVID-19対応



COVID-19診療体制

Phase1 (2020.3.30)	Phase2 (2020.4.1)	Phase2-1 (2021.1.13)	Phase2-2 (2021.1.18)
2020.1 武漢帰国者受入れ	2020.4 新宿区PCR検査スポット開始		
2020.2 タ'イランド・フ'リンセス号乗船患者受入れ	2020.4 院内感染対策の強化		
2020.2 新感染症病棟の稼働、5階西病棟のコロナ病床転化	2020.5 術前PCR検査体制整備		
2020.3 発熱外来開始	2020.8 全入院患者PCR検査体制整備		
2020.4 全ICUコロナ転化、不急の手術延期	2021.1 6階東病棟の休棟、HCUコロナ転化		

Phase 1 (#10 室をコロナ患者に使用)



#09 室を準備室として使用
#08/09 室間について

入室の条件

- 挿管・人工呼吸管理
- VV-ECMO 要す

退室基準

- VV-ECMO の離脱
- 抜管は ICU 外で

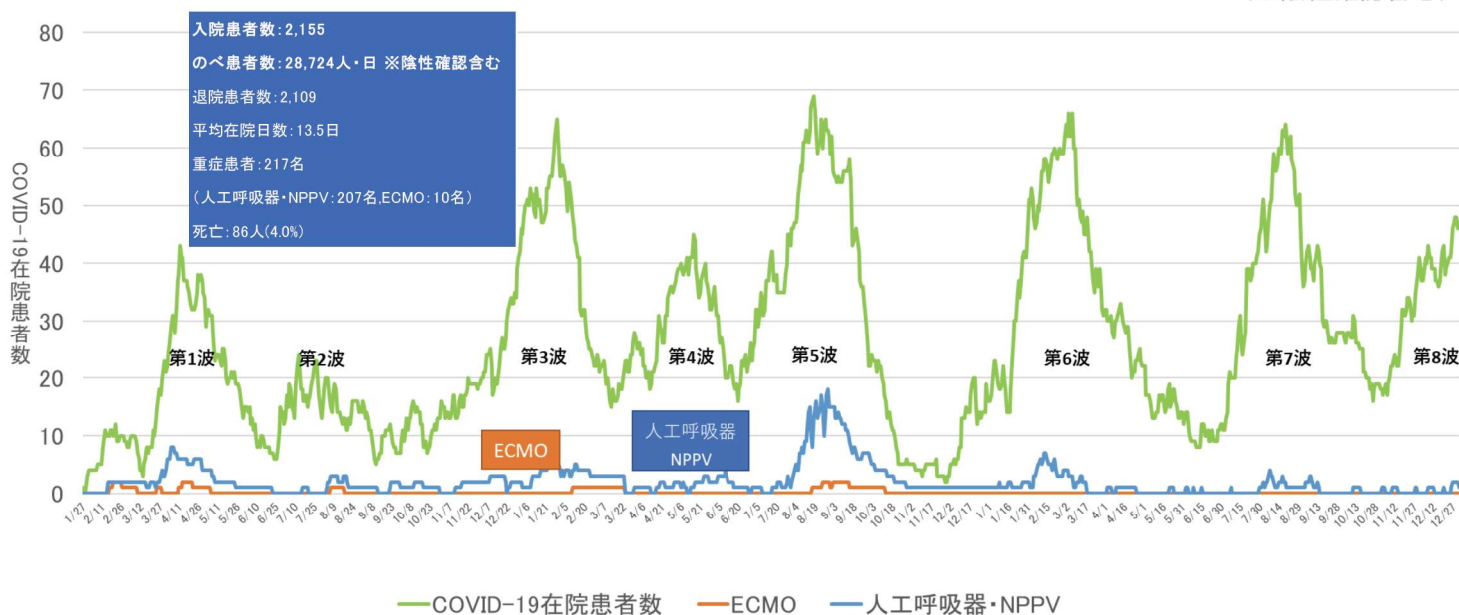
通常診療への影響

- 9 床運用 (通常患者 8 床)
- 診療報酬が 3659 万円 (平均 4326万円) へと減収
- 動線の分離が困難

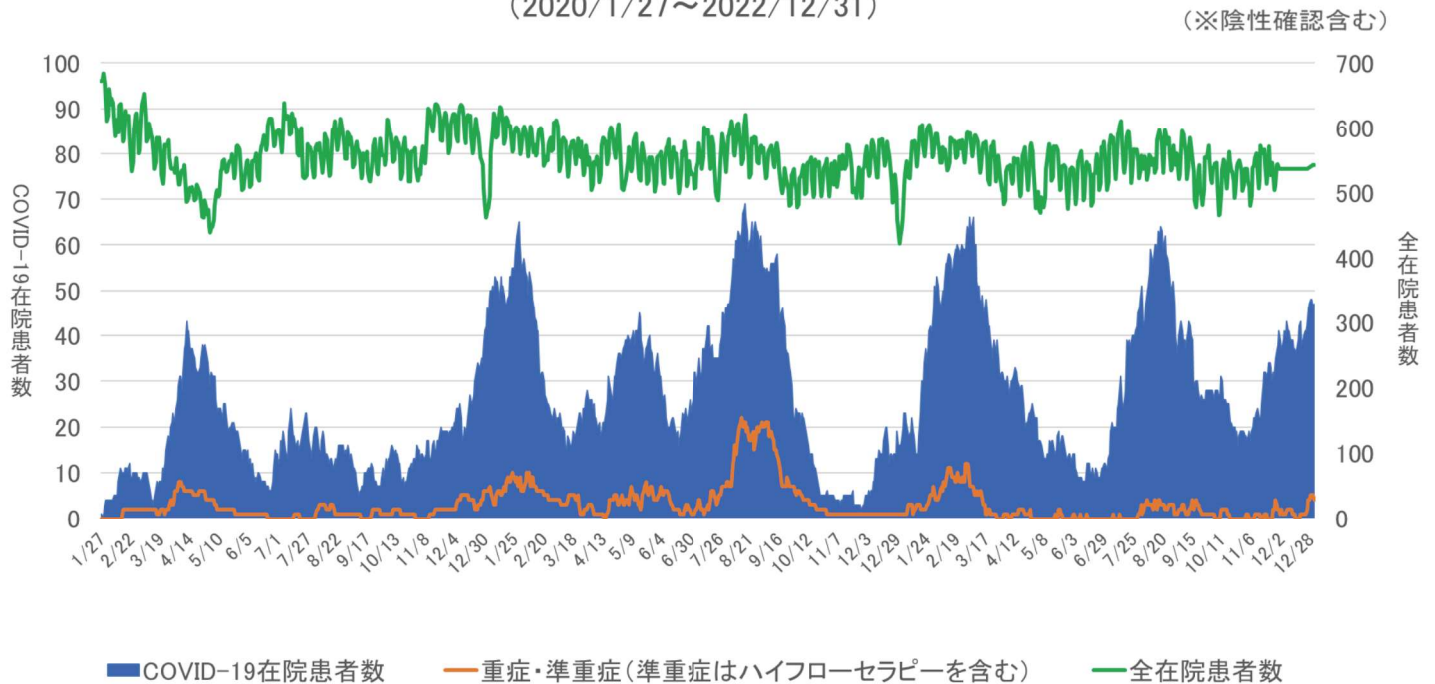


NCGMセンター病院における新型コロナウイルス感染症 在院患者数の推移 (2020/1/27~2022/12/31)

(※陰性確認含む)



新型コロナウイルス感染症発生以降のNCGM在院患者数の推移
(2020/1/27～2022/12/31)



結核病棟（感染症病棟）のリニューアル

- 結核病棟40床（陰圧病棟）



- 結核病床22床＋一般病床18床



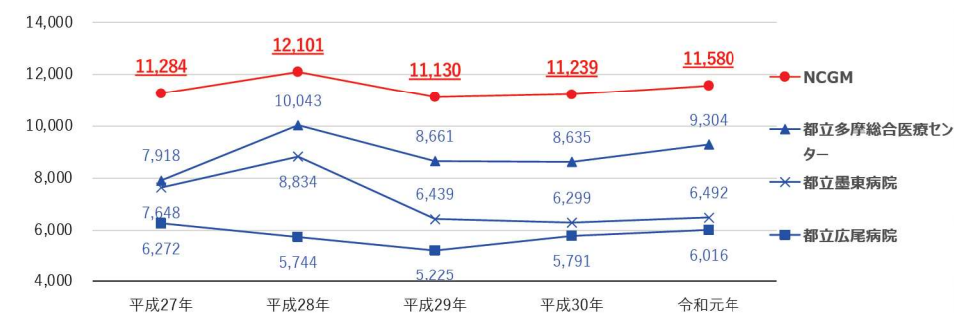
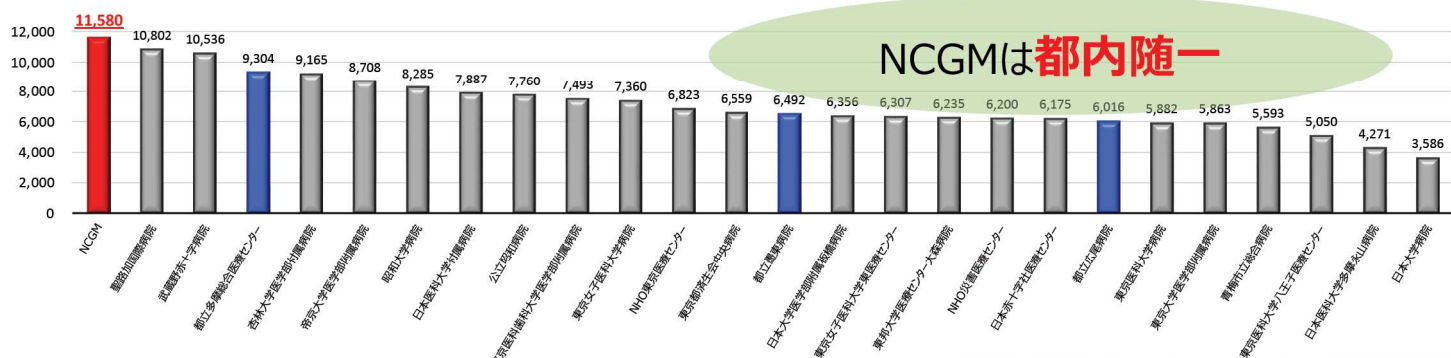
- ユニット病床7床＋モデル病床7床＋モデル病床8床
＋一般病床18床

★扱う疾患によって機動的に病床を転換させることが可能

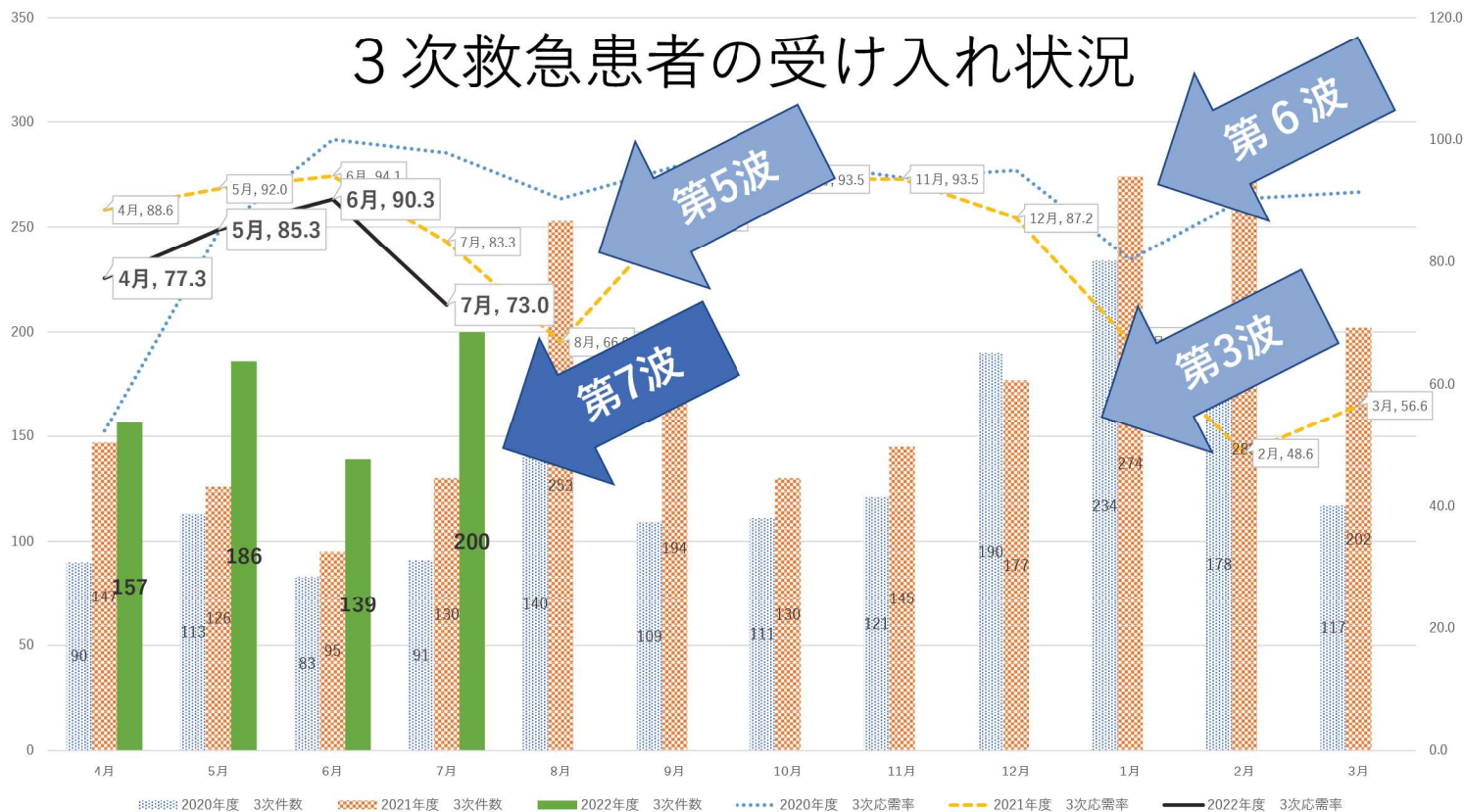
救急車の受入実績

令和元年における年間受入救急車搬送人員

出典：厚生労働省 救命救急センターの評価結果（平成31年～令和元年）について【資料3】



3次救急患者の受け入れ状況



2022年8月1日午前8時30分頃 NCGMセンター病院救急外来入口にて



救急車6台（車内待機中2～3台）、ポンプ車2台、その他1台：計9台

28

NCGMの Covid-19 医療提供体制 の振り返り

- 感染初期：
 - 未知の感染症に対して先頭にたって診療と研究、情報公開
 - 地域主要病院と医師会と連携して役割分担を確立
- 第3波以降
 - 重症・中等症に特化した特定機能病院としての役割
 - 軽症者療養施設の支援、オリパラ対応
 - Covid以外の三次救急医療体制の維持
- 第5波以降
 - 院内クラスター・待機職員増加への対応
 - 後方支援病院との連携

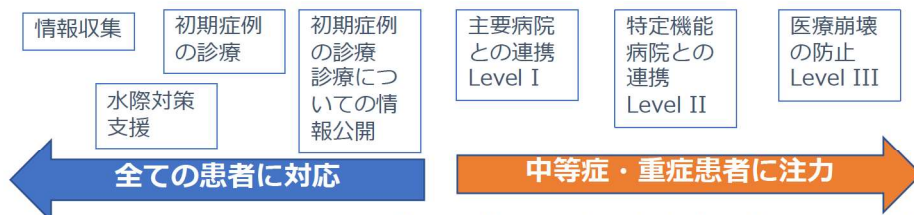
29

パンデミック発生段階ごとの医療提供体制

東京都新型コロナウイルス等対策行動計画H25より

		未発生期	海外発生期	国内発生早期	都内発生早期	都内感染期			小康期
						通常院内体制	院内体制強化	緊急体制	
医療体制	外来		新型インフルエンザ'専門外来 (ウイルス検査実施)			すべての医療機関が対応 (基本はかかりつけ医)			
	入院		陽性(+)	陰性(-)		・小児、重症患者受入可能医療機関の確保 ・備蓄医薬品の放出 ・特段の措置の要請 ・臨時の医療施設の活用			
			感染症指定医療機関	一般医療機関への入院または自宅療養					

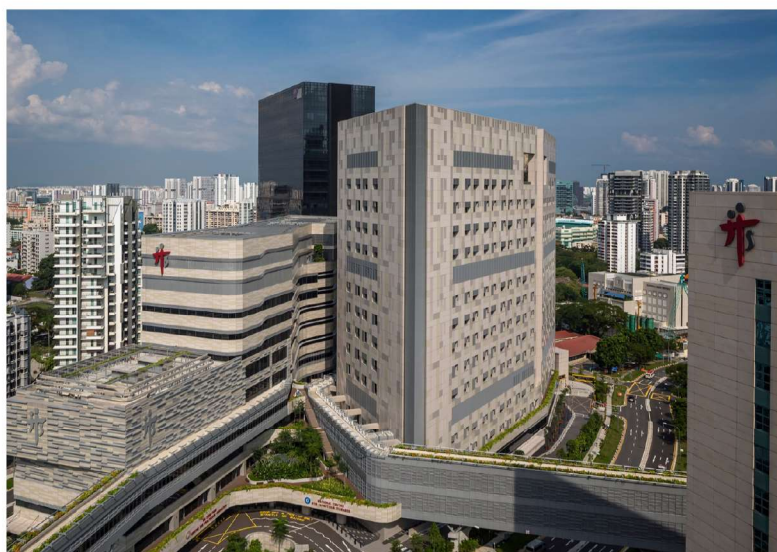
NCGM
センター病院
の役割



https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/000/367/2018_3n.pdf

感染症専門病院の参考事例：シンガポール

NCID



330床の感染症専門病床
 平時に80%稼働

隔離室：100
 陰圧室：124
ICU：38床
 HLIU：4床
 手術室：2
 霊安室あり

BSL3実験室あり

感染症専門病院の参考事例：シンガポール

NCID



330床の感染症専門病床

平時に80%稼働

有事に**580+**まで拡大可能

隔離室：100

陰圧室：124

ICU：38床

HLIU：4床

手術室：2

霊安室あり

BSL3実験室あり

32

感染症専門病院の参考事例：シンガポール

NCID ← タントックセン病院



1500床の三次紹介病院

45の臨床科・部門

16の専門センター

医療スタッフ8,000人以上

シンガポールで2番目に大きい
急性期医療総合病院

感染症有事にはNCIDへ医
療スタッフを派遣

(渡り廊下でつながっている)

33

次の有事に 備えて

- 国立感染症研究所との統合
 - 感染情報とサンプルの一元
的活用
 - 総合病院機能の維持
 - 人材育成
- 地域主要病院・医師会との
連携
- 医療DX改革

34



35